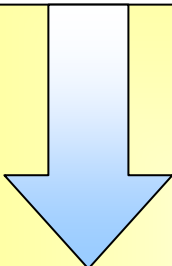


〔総論〕

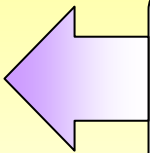
なぜ男女共同参画を推進していくべきなのか

〔 例 ・ 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会の実現
 ・ 男女が個性と能力を発揮することによる、多様性に富んだ活力ある社会経済の構築 〕



現計画策定後の社会情勢の変化と課題

〔 例 ・ 少子高齢化
 ・ 雇用・就業をめぐる変化
 ・ 家族をめぐる変化
 ・ グローバル化 〕



視点（男女共同参画社会の実現に向けての第2ステージのため、今何が必要か）

〔 例 ・ 男女共同参画に興味・関心の薄い層への戦略的発信
 ・ 多様な個人や団体の連携・協働（第2ステージの具体化）
 ・ 多様なライフコースを想定した長期的な視点に基づく取組 〕

具体化

重点事項	推進体制	WG（案）
政策・方針決定過程への女性の参画の促進 女性のライフコースに沿ったエンパワーメント		女性の活躍促進WG
男性にとっての男女共同参画	風土の改革・気運の醸成、あらゆる年代層への意識啓発と実践的取組	男性・広報WG
地域における男女共同参画の推進	国と地方の推進体制の整備充実 地方公共団体、企業、大学、NPO、男女共同参画センター等との連携強化	地域WG
生涯を通じた健康支援		健康WG
	国際的協調・対外発信機能の強化	国際WG
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現		WLB 専門調査会
女性に対する暴力の根絶と人権の尊重		暴力専門調査会
より多様な生き方を可能にする社会システムの実現 生活困難を抱える人々への対応	監視・影響調査機能の強化	監視・影響調査専門調査会



今後重点的に取り組むべき分野の達成状況・評価、今後の施策の基本的方向と具体的な取組〔各論〕

〔 ※現行計画における 12 の重点分野に相当するもの（例：①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大）。
 なお、各論部分における項目の立て方については、別途議論。 〕



新たな時代にふさわしい男女共同参画社会の実現